

国立病院機構熊本医療センター

# くまびょうNEWS



新たな決意と意思を胸に  
～人を看て命に寄り添う看護師へ～



## 【特集】

誓いの式について

- VOICE
- 医学シリーズ 精神科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、  
**外来紹介予約センター**をご利用ください。



熊本医療センター  
地域医療連携センター長  
菊川 浩明



096-353-6565  
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30～17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構  
**熊本医療センター**

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター

検索

ホームページ QR コード

私達が熊本医療センターに入学してから早くも7か月が経ちました。私達にとってこの7か月間は毎日新しいことの連続で、学ぶことの多いとても充実した時間でした。

今回、厳粛な雰囲気の下で行われた「誓いの式」では、病院関係者の方や先生方、保護者の方、上級生をはじめとした多くの方々に見守られながら、クラス全員で考えた誓いの言葉を述べ、看護学生として新たな一步を踏み出すことができました。

私達 76 期生は誓いの言葉を考えるにあたって、「どんな看護師を目指すのか」「看護師に求められるものは何か」ということを深く考えました。一人ひとり目指す看護師像や看護師に必要なことを具体的に出し合うことで、お互いの看護職への向き合い方や思いを知るきっかけとなりました。



### 第76期生 誓いの言葉

- 一つ、「確かな知識と技術を持ち、自己研鑽し続ける看護師」を目指します。  
どんなときも初心を忘れず向上心と責任感を持って看護します。  
知識を深め技術を磨き根柢をもって看護します。
- 一つ、「医療チームの一員として連携し良質な看護を提供できる看護師」を目指します。  
チームの一員という意識を持ち真摯に看護に取り組みます。  
他の職種と患者と家族をつなぐ架け橋になります。
- 一つ、「患者の声に耳を傾け痛みや喜びを共感できる看護師」を目指します。  
患者のニーズや価値観を大切に誠実な態度と愛をもって看護します。  
笑顔忘れず患者と家族の幸せを願う心を持ち続けます。

けとなりました。

これから、今まで以上に勉強も技術も専門性を増し、時には大変なことやつらいこともあると思います。そんな時とともに看護師を志す友人達と励ましあい、誓いの式で誓ったことを思い出しながら、乗り越えていきたいと思っています。

### 看護学校学生

- あきよし りょうたろう  
左) 秋吉 遼太郎  
まえだ ゆうき  
右) 前田 有輝



令和4年11月11日にご来賓の方々、保護者、病院職員が見守る中、誓いの式を執り行うことができました。ナイチンゲール像からの灯火を手にした学生たちが、皆で考えた「誓いの言葉」を述べ、決意を新たにしました。



1年生代表の土田麗奈は「日々の学校生活において、知識や技術、人間性を高める努力を続け、患者さまの価値観を理解し、誠実な態度と愛をもって笑顔で看護できる看護師を目指します。」と述べました。

これからも、支えてくださる方々へ感謝の気持ちを忘れず、知識・技術・態度を備え、人間愛を基盤とした看護を提供する看護師を目指すことを誓いました。

### 看護学校教員 ひがしたるみず ともこ 東垂水 朋子





# VOICE

## 登録医の声

医療法人社団 大玄会  
**田上心臓リハビリ  
 テーション病院**

おおしま しゅういち  
**院長 大嶋 秀一**



### ◆ 貴院のアピールをお願いします

令和2年4月より上記名称に変更し、心リハを中心とした循環器医療を柱としました。心臓リハビリ指導士7人と心不全療養指導士6名を有し、令和3年は入院心リハ約4000件、外来心リハ約1700件を施行しています。通常は熊本医療センター等の基幹病院から心臓術後や心不全の回復期の患者さまをご紹介いただき、退院後はかかりつけ医と協力して心リハを継続しています。心リハは運動療法だけではなく疾病管理として重要とされています。

### ◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

毎朝、大江川鶴より水道端公園横を抜け白川にかかった明午橋を渡ります。明午橋上から立田山が一望でき、その左手前にうっそうと茂ったくすの木や銀杏に囲まれた藤崎八幡宮の社が見えます。橋より坂道をおりて藤崎宮にお参りして、参道のみごとな松や灯籠をみながら職場に行くのが日課です。散歩中にお参りする人がいたり、近くの小学校の児童たちが鳥居の前でちょこんと頭を下げているのが日常的であり、町に根づいた庶民の神社のように感じとてもほっこりします。

### ◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

本院は循環器領域を中心とした内科の病院ですが、多くの患者さまは高齢で糖尿病等の併存疾患を複数有されており、時に脳血管疾患、悪性腫瘍や整形外科的疾患等を発症されます。そんな時、熊本医療センターの先生方に精査や緊急対応をお願いしております。いつでも診ていただける貴院のスタッフを本当に頼りにしています。これからもよろしくお祈りいたします。



### 【診療科目】

一般内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・  
 リハビリテーション科・心療内科・在宅医療

### 【診療受付時間】

月～金曜日 9:00～17:30

昼休み 12:00～12:30

土曜日 9:00～12:00

土曜日の受付は12:00迄となります。

※心療内科は田上貴一理事長診察日(火・水・木)での対応となります。

### 【休診日】

日曜日・祝日・土曜日午後

※但し、急患はこの限りではありません。

来院前にお電話ください。

### 【住所】

〒860-0842 熊本市中央区南千反畑 10-3

### 【TEL】

096-354-5885

### 【FAX】

096-354-5859



## 最近のトピックス

## アルコール依存症について

国立病院機構熊本医療センター  
精神科

## ●アルコール依存症について

アルコール依存症は誰でも発症する可能性のある疾患です。男性の50人に1人、女性の500人に1人が診断基準を満たすとされています。また多くが何らかの理由で医療機関を受診するにも関わらず、10人に9人はアルコール依存症の治療を受けられないようです。

アルコール依存症の治療は断酒（一切飲酒しない）の達成とその継続を目標とされていました。しかし、断酒を治療目標とする事に抵抗感を持つ方が多く、治療を受けられる方が少ない原因の1つと考えられています。近年では、断酒まではいかずとも、飲酒の害をできるだけ減らすために、節酒（飲酒量を減らす）から始めるという考え方も広まっており、ガイドラインなども制定されています。

アルコール依存症の診断にはWHOの作成した診断基準がよく使用されます。

- 1：渴望（1人でも飲みに行く、隠れてでも飲む）
- 2：コントロール（休肝日でも飲む、飲み始めたら止まらない）
- 3：離脱症状（頭痛、イライラ）
- 4：耐性（飲む量が増えていく）
- 5：飲酒のための生活（1日中飲酒、趣味よりも飲酒）

6：抑制の消失（家族や医師から止められるのに飲酒している）

上記の項目を元に、症状の程度や期間に応じて診断されます。

治療としては断酒や節酒、心理社会的治療が主なものになります。心理社会的治療とは患者がアルコール依存症や治療の必要性を理解し、患者自身が飲酒に対する考えや飲み方を見直していくために医療がサポートしていくものです。具体的には従来主流であった集団精神療法をはじめ認知行動療法、動機づけ面接などがあり、専門医療機関では Alcoholism Rehabilitation Program が実施されている施設もあります。医療機関だけでなく地域には自助グループ（断酒会・アルコールアノニマス）や家族会などが存在し、精神保健福祉センターや保健所へも相談できます。薬物治療も存在しますが、補助的なものと考えた方が良いでしょう。

アルコール依存症は生活習慣病をはじめ、様々な疾患（200以上といわれる）の原因となります。飲酒習慣のある方は疾患の背景に、自覚なくアルコールの問題が隠れていることが少なくありません。少しでも気になる方はかかりつけ医に相談されたり、インターネットでAUDIT-Cなど簡単なスクリーニングテストを受けたりなど出来ますので活用されてください。





## 第76回国立病院総合医学会 熊本で開催

第76回国立病院総合医学会を、2022年10月7-8日に熊本県の熊本城ホールにて開催致しました。会長施設を当院が、副会長施設を、熊本再春医療センターと、九州医療センターが担当し、盛況に開催することができました。

3年ぶりに対面式の現地開催ということで、全国から4500名の方々にご参加いただきました。特別講演2題、基調講演2題、教育講演2題、22のシンポジウム、8つのパネルディスカッション、8つの教育セミナー、そして約1,700題におよぶ一般演題発表など、充実したプログラムで活発な討議が行われました。

この巨大会を熊本で受け入れることができたのも、国際会議場として3年前に完成した熊本城ホールのお陰であり、熊本県・熊本市の御支援、さらには協賛いただきました企業の皆様のご協力の賜物と、心より御礼申し上げます。



国立病院機構熊本医療センター  
院長  
高橋 毅  
Takeshi Takahashi



10/7 (金)  
10/8 (土)

『第76回国立病院総合医学会』  
受賞者紹介

臨

【筆者】臨床研究部長：富田 正郎

当院からシンポジウム3題、パネルディスカッション6題、口演12題、ポスター59題、若手医師フォーラムポスター1題と、昨年比で約5倍の計81演題にのぼる多数の発表をしていただきました。発表者の皆さまごろうさまでした。

その中から昨年比で約3倍の11題がベスト賞に選ばれました。受賞者は、口演発表部門で看護部前川友成さんと柏木千穂さん、ポスター発表部門で薬剤部松藤敬佑さん、看護部古財亜津子さん、秋月枝里花さん、川野真歩さん、香月麗さん、田平佳苗さん、志水直子さん、小児科小山真輝先生、病院情報システム管理部園田美樹さんです。受賞者の皆さまベスト賞の受賞おめでとうございます。

【場所】熊本城ホール・市民会館シアーズホーム夢ホール・熊本市国際交流会館



10/28(金)

第22回花粋祭  
『笑顔ドンドン～チムドンドン～』

校

【筆者】教員：吉竹 あゆ

本年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、1日のみの開催となりました。

院内職員の皆さんにも多数ご参加いただき、多くの方々が自然と笑顔になれるような楽しいものになりました。

特別講演では、熊本県在住の7男3女の母である岸信子様をお招きし、『家族』をテーマにご講演いただきました。妻として母としての体験を楽しく語っていただき、特に子どもから気づかされた様々な経験は看護につながるものがありました。学生からは、「とてもいいお話だった。」「生きていく中で、大切なことがわかった。」など学ぶことが多い講演でした。

【場所】地域医療研修センター





# 研修医レポート

## 臨床研修医

まつもと まさや  
松本 将弥



こんにちは。

研修医1年目の松本将弥と申します。広島大学を卒業し、4月より国立病院機構熊本医療センターで初期研修をさせていただいています。

最初は新しい環境で、社会人としてやっていけるのか不安を抱えていましたが、多くの方々のやさしさ・親切さに触れることが出来る職場で、すぐにその不安は消え去りました。不安な気持ちがあったときに嘘のように今では充実した研修を行うことが出来、気づけばあっという間に半年が経ちました。

私はこの半年間で麻酔科から始まり、循環器内科、脳神経内科、消化器内科を回らせていただきました。現

在は救急科で忙しくもやりがいのある日々を過ごせています。どの科を回っても指導医の先生方をはじめ、病棟業務や検査などかかわる様々な方々に手取り足取り教えていただき、出来る事が日々増えていくことに楽しさと充実感を感じながら実りある研修を行えています。気管挿管が必要な状況で物怖じせずに行えること、心電図や心エコーの所見からある程度評価できるようになってきたこと、神経学的診察を行えたり脳梗塞の画像所見を自分で探せるようになってきたこと、エコーをあてて腹腔内の所見を以前より評価できるようになったこと、など各科で学んだことを救急で発揮できているのではないかなと思います。

まだまだ目の前のことに必死でご迷惑をおかけすることが多々あるとは存じますが、一日一日学んだことを吸収して一人前の医者に近づけるよう日々精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 歯科臨床研修医

うえだ なつの  
上田 夏野



こんにちは。歯科研修医の上田夏野と申します。北海道大学歯学部を卒業し、4月から熊本医療センターにて臨床研修医として勤務しております。

私は歯学部を卒業した時点では、将来のビジョンとして最終的には自身の歯科医院を開業することをイメージしておりました。そのため、自分が将来出会う歯科救急の患者さんに冷静に対応できる力を身につけること、また超高齢社会において全身疾患をお持ちの患者さんに安全な歯科医療を提供できる知識を身につけることが必要と考え、急性期病院である熊本医療センターでの研修を選択しました。

実際に歯科口腔外科には骨折や歯の脱臼といった外傷や、虫歯から炎症が顎の骨や首にまで波及してしまっ

た患者さんなどが多く受診され、日々救急対応の実際を勉強させていただいております。夜間の電話呼び出しで上級医の先生と一緒に救急外来に赴いて処置をするときなどはタフな現場だと感じることもありますが、同時に微力ながら熊本の地域医療に貢献しているというやりがいも強く感じられます。

医科の先生からのご依頼で、お口以外の病気の手術や抗がん剤治療を行う前後の口腔内管理を行ったり、入院患者さんの摂食嚥下機能の評価を行ったりもしますので、医科と歯科の連携の実際も知ることができ、充実した研修の日々を過ごしております。

研修開始からやがて7カ月が経過しようとしておりますが、これまで歯科の先生方や衛生士の皆さんを始め、連携の機会が多い耳鼻科の先生方、摂食嚥下チームの方々など多くの方にご指導をいただき、少しずつではありますが成長の実感を得ております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



## 2022年12月研修のご案内

### 二の丸モーニングセミナー

日時▶12月1・8・15・22日(木) 8:15~8:45  
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

### 第57回 診断と治療—最新の基礎公開講座— [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]

日時▶12月17日(土) 15:00~17:30  
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

座長 緒方消化器内科 院長 緒方 一郎 先生

#### 「進化する肝がん治療2022」

##### (1)「肝がん治療の進歩」

早期肝がんに対するフュージョン・イメージングと次世代マイクロ波焼灼療法」

国立病院機構熊本医療センター診療部長/消化器内科部長 杉 和洋

##### (2)「進行肝がんに対する薬物療法～分子標的薬と免疫チェックポイント阻害薬」

国立病院機構熊本医療センター消化器内科医師 松田 暖

##### (3)「肝がんの背景疾患の変遷と現状」

国立病院機構熊本医療センター消化器内科副部長 中田 成紀

##### (4)「2022年の肝がんに対する医療費助成制度変更点」

熊本県健康福祉部健康危機管理課 田川 広大 先生

##### (5)「肝がんの拾い上げからの治療 up to date」

熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学講座助教 立山 雅邦 先生

### 第286回 月曜会(内科症例検討会)

[日本医師会生涯教育講座1.0単位認定]

日時▶12月19日(月) 19:00~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

- 1 救命救急部からの一例 2 総合診療科からの一例

※今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえ、急遽中止させていただく場合がございます。  
最新の情報は当院ホームページでご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

研修へのお問い合わせはこちら  
国立病院機構熊本医療センター  
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター  
QRコード▶



患者さまをお待たせしないために

# ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

# 096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター  
地域医療連携センター長  
菊川 浩明

令和4年12月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 真久	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 裕大 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記		名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)
	感染症内科	小野 宏	小野 宏			小野 宏	小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 達智	境 健爾 博隆	境 健爾	境 健爾 達智		
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 佐々木 大亮	杉 和洋 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 大亮	松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 松田 暖 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 大亮 山本 祐弥	杉 和洋 松山 太一	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	田山 信至 日下 裕章 (新患) 木村 優一 (新患)	藤本 和輝 拓究 (隔週 新患) 奥野 佑樹 (隔週 新患)	片山 哲治 (新患) 日下 裕章	田山 信至 (新患) 友宏 長倉 拓究 奥野 佑樹	和輝 (新患) 片山 哲治 木村 優一	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 健実 岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めての方 2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	大塚 ゆかり	水上 智之	水上 智之	小山 真輝	
	免疫	水上 智之		水上 智之 担当医	水上 智之	右田 昌宏	
	血液	右田 昌宏				右田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 谷崎 卓実	野元 大地	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	斉藤 大嗣 大塚 忠弘	
	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智和 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		園武 茜		富野 航太	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 東 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか 坪木 純子	山本 直 島田 清史郎	手術日	高木 みか 坪木 純子	山本 直 島田 清史郎		
感覚器センター (眼科)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	草場 雄道	担当医 (手術日)	牧野 公治	
	再診 (その他 初診)	中原 智史 草場 雄道	牧野 公治 山村 愛	中原 智史 草場 雄道	草場 雄道	牧野 公治 山村 愛	
形成外科	(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 大島 秀男 石田 拓也 大塚 駿太		
放射線科	治療 (予約制) 画像診断	富高 悦司、山田 茂雄 根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)		添田 賢造 (術前診察 / 麻酔相談)		(午前のみ) 瀬 賢一郎 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科	森 久美子 (隔週) 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈 前田 顕誠 (隔週)	中島 健 森 久美子 谷口 広祐 (隔週) 中川 文雄 中尾 美文 早川 真奈 (隔週)	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈		
救命救急センター	櫻井 聖大 橋本 克孝 山田 周 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 克孝 山田 周 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 克孝 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 克孝 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 克孝 山田 周 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹		
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師		
	がん看護	専門看護師 (午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師		
薬剤師外来	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師		
	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注) 担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R4/12/1